



夢・いっぱい

第5号

令和2年7月22日

○ 2020年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

1学期末を迎えて

～ 充実した夏休みを ～

校長 原田 剛

4月の始業式・入学式、そして、約1ヶ月の臨時休校。さらには、新型コロナウイルス感染症予防対策をしながらの学校再開。あっという間に7月末を迎えようとしています。

1学期は大きな学校行事もなく、まずは通常の学校生活を送ることを第一目標としてきました。特に1年生にとっては、新しい学校生活に慣れることも大変ですから、多くの不安もあったことでしょう。本当によく頑張っていると思います。

さて、1学期の始業式で、子どもたちに以下の3つのお願いをしました。

- ①生活のリズムを取り戻すこと
- ②学校のルールを守り、友だちの気持ちを考えること
- ③あいさつをたくさんすること

学校生活において、特によくなっているのは①です。今では、どの学級でも授業前の「3分前入室、2分前着席、1分前黙想」がきちんとできており、毎時間を気持ちよくスタートしています。本当に素晴らしいです。2学期になり、参観日が再開されましたら、是非、学級の様子をご覧ください。

そして、何より子どもたちは友だちと一緒にいることが楽しく、臨時休校前と同じように遊ぶ光景が多く見られるようになりました。改めて、日常生活の有り難さを感じているところです。

さて、今年度の1学期は7月末までです。そして、2学期は8月24日からになります。例年であれば、夏休みは40日程度ありますが、今年度は23日となり、約半分です。感染症の拡散状況にもよりますが、その休みも今年は自宅で過ごすことが多くなりそうですね。そこで、緊急事態宣言以降、世の中では自宅でできる様々な楽しみ方の提案がありました。各ご家庭におかれましても、「新しい生活様式」の中でも楽しめる活動を家庭に取り入れるなど、自宅で過ごす時間が充実するようご協力をよろしくお願いいたします。



初めての絵の具の授業（1年生）



あいさつ運動に JRC 委員会も参加

☆ 第1回学校運営協議会を開催しました

山口県では、令和2年4月に高等学校、総合支援学校が加わり、全ての公立小学校、中学校、高等学校、総合支援学校等がコミュニティ・スクールとなりました。学校運営協議会が設置されている学校をコミュニティ・スクールと呼び、学校、家庭、地域、企業等の連携・協働により、郷土への誇りや愛着を育むとともに、子どもの豊かな学びや育ちを実現していく地域連携教育の推進を図ります。この学校運営協議会では、学校の教育目標や課題に応じて、

- ①学校教育の質の向上
- ②学校運営の質の向上
- ③地域のよりどころとなる学校づくり

について協議します。愛宕小学校においても、今後更に地域とともにある学校となるよう、右表の委員のみなさまと共に取り組んでまいります。

7月16日（木）に行われた「第1回学校運営協議会」では、今年度の学校経営方針について学校から説明した後、学校行事について情報交換を行いました。

委員氏名	所属等
安東 和昭	主任児童委員
藤本 正臣	愛宕地区社会福祉協議会 会長
牛尾 宗一	愛宕地区自治会連合会 会長
岸添 俊夫	民生児童委員協議会地区会長
白木 光昭	愛宕地区子ども会育成連合会 会長 ※本協議会 会長
西村 宣子	岩国中央幼稚園 教頭 (いづみ保育園 副園長)
磯元 英子	常照保育園 園長
八木 敦浩	校外教育支援コーディネーター
平井 真奈美	校内教育支援コーディネーター
秋田 大雅	愛宕小学校教育友会 会長
太田 光寛	川下中学校 教頭
原田 剛	愛宕小学校 校長